東京ジャーミイ金曜日のホタバ

2011 年 2 月 18 日

タウヒード（神の唯一性）

ムスリムの皆様。私達の教えはタウヒードの信仰です。タウヒードとは、アッラー以外の創造主と崇拝対象を認めないということです。聖アーダムから、最後の預言者ムハンマドに至るまで、彼らがもたらした教えの基本は、タウヒードの信条によって成り立つものです。歴史を通して全ての預言者は、タウヒードの教えを伝えようと努め、人々にアッラーの唯一性、来世、そしてそのメッセージを信じるよう呼びかけたのです。時間と共に人々がタウヒードを忘れ、宗教から遠ざかるようになると、アッラーは新たな預言者を遣わされ、タウヒードの信仰から逸脱しないよう導かれたのです。

クルアーンでは次のように説かれています。「本当にわれは、各民に一人の使徒を遣わして『アッラーに仕え、邪神を避けなさい。』と（命じた）。それでかれらの中には、アッラーの導かれた者もあり、また、迷誤が避けられない者もあった。それで地上を旅して、（真理を）拒否した者の最後がどんなものであったかを見るがいい。」（蜜蜂章第３６節）

タウヒードは、アッラーによる支配はどのような形であれ分割させられることがないこと、アッラー以外のいかなる存在にも人間性を超越した力は与えられないこと、アッラー以外の存在に対しては崇拝行為はなされない、ということを意味します。なぜなら最も高貴な特性はアッラーのものであるからです。アッラーの神性の特性のうちの一つ、もしくは複数を他の存在に対して用いることはシルクになります。シルク、つまりアッラーになにものかを配することは、悔悟が行なわれない限り決して許されることのない罪なのです。

親愛なるムスリムの皆様。人間はタウヒードの教えを受けいるに適した天性を備え、清らかな存在として創造されました。人の創造の完全さ、そして彼が周囲に見出す全てのもの、自然界の完璧な作用は、人にタウヒードを説き明かします。彼がやるべきことは、タウヒードの教えを自分のものとすること、それを守ることです。クルアーンはタウヒードを損ない、正しい信仰を失わせる要素を一つ一つ教えています。シルクはタウヒードを失わせます。例えば父祖伝来の宗教を無知なままに信じること、うぬぼれや我欲の虜になることなどです。これらの全てのリスクから自らを守る方法は、宗教を正しく学び、正しく理解し、正しく実践することです。

親愛なるムスリムの皆様。崇高なる主は、人間やジン(幽精)をただご自身へ崇拝させるために創造されました。イバーダにおいてアッラー以外の承認を得ようと求めること、善行を人に見せる為に行なうこと、アッラー以外の存在に助けを求めること、健康の回復を求めることなどは、タウヒードの信仰に反する行動です。今日のホトバを、シルクを恐れ、タウヒードに結びついている事に関するアッラーのご命令を紹介することによって締めくくりたいと思います。

「本当にわれは真理によって、あなたにこの啓典を下した。それでアッラーに仕え、信心の誠を尽せ。」（集団章第２節）「言ってやるがいい。『わたしはあなたがたと同じ、只の人間に過ぎない。あなたがたの神は、唯一の神（アッラー）であることが、わたしに啓示されたのである。凡そ誰でも、主との会見を請い願う者は、正しい行いをしなさい。かれの主を崇る場合に何一つ（同位に）配置して崇拝してはならない。』」（洞窟章第１１０節）